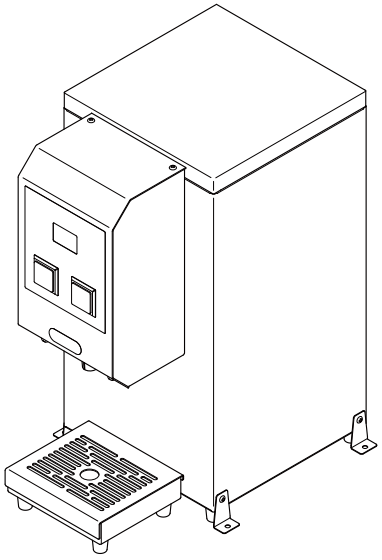
ITOMIC

工事要領・取扱説明書

製品名：卓上型電気湯沸器ワクワク

型　式：WKT-14S(1)



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

※この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

株式会社日本イトーミック

もくじ

共通項目 ・・・2

安全上のご注意・・3

WKT-14S(1)について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

各部名称 ・・5
仕様一覧 ・・5

工事要領 ・・・6

施工前にご確認ください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

1.部品の確認 ・・・7
2.設置場所の確認 ・・8

施工する・・9

1.設置工事 ・・9
2.配管工事 ・・・10
3.電気工事 ・・・11
4.施工後の確認 ・・・11

試運転を行う・・12

1.試運転を行う ・・・12
2.出湯量の設定 ・・・15
3.試運転後の確認 ・・・17

取扱説明 ・・ 18

使用方法・・19

1.使用前の準備と確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
2.出湯する ・・19
3.運転状態の表示 ・・・20

お手入れの方法・・21

保守点検項目と実施の目安 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
長期間使用しないときは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
短期間使用しないときは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
凍結防止対策 ・・23
外装のお手入れ ・・23
注湯口のお手入れ ・・24

こんなときは・・25

故障かな？と思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

デジタル表示、ランプ表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

アフターサービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

消耗品について ・・27
補修用性能部品について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
メンテナンス契約について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
修理をご依頼の際には ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

⚠警告 この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。

⚠注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
⃠の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は『分解禁止』という意味です。）

●の記号は、しなければならない行為（強制行為）を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。）

重要事項：必ずお守りください

⚠警告	
⏚	**アース（D種接地）工事を確認してください。** アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。
❗	**定格電圧でお使いください。一時変動がある場合には± 10％以内の環境でお使いください。** 故障、火災の原因となります。
❗	**必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。** 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
⃠	**絶対に改造はしないでください。** 火災、感電、やけど、故障やケガの原因となります。
⃠	**屋外に設置しないでください。** 感電、故障の原因となります。
⃠	**設置時、リセット操作時、メンテナンス作業時以外は上蓋を開けないでください。** 感電、やけどのおそれがあります。
⃠	**本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。** 発火のおそれがあります。
⃠	**水が掛かったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。** 腐食や感電、故障の原因になります。
⃠	**水・油・洗剤等が掛かる位置に機器本体および電源プラグ用のコンセント（電源プラグ付機種の場合）を設けないでください。** 腐食や感電、故障の原因になります。
⃠	**タンク内の湯温が高い場合には絶対に排水しないでください。** 配管が破損して、やけどしたり漏水するおそれがあります。
⃠	**給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、注湯口に直接触れないでください。** やけどのおそれがあります。

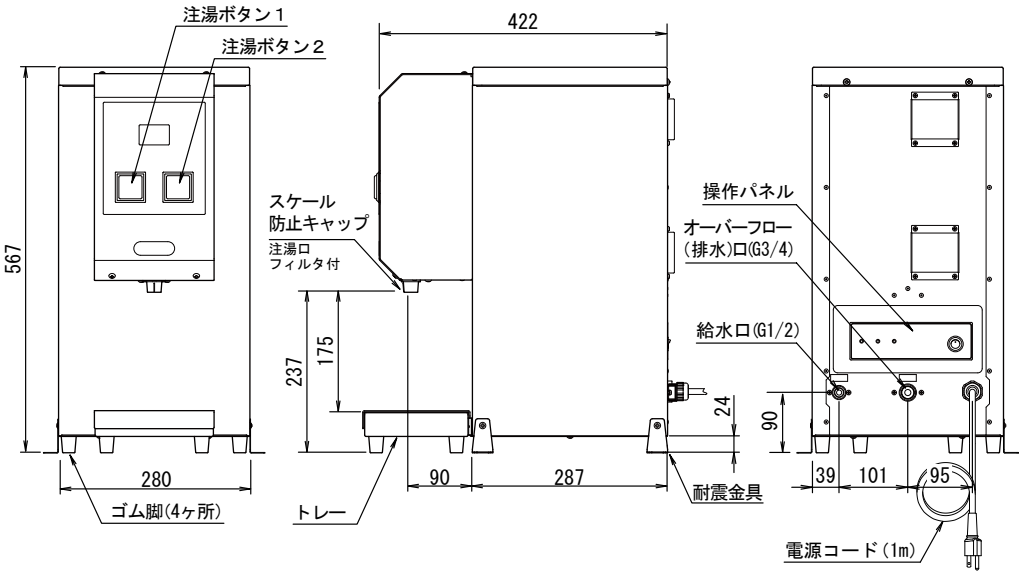
⚠注意	
⃠	**機器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。** 落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
	機器本体に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因となります。
	デジタル表示部が「Lo」の場合は、飲用しないでください。 健康を害するおそれがあります。
	水道水（上水）以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水、故障、発火、漏電の原因となります。
	長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は使用しないでください。 健康を害するおそれがあります。
❗	**規定の給水圧力（静止圧）にてご使用ください。** 誤動作、故障の原因となります。
	満水質量に十分耐えられる強度を持った調理台などに必ず水平に設置してください。 故障の原因となります。
	機器本体へ配管接続する前に配管内のゴミ（切削粉、砂、シールテープ等）を除去するため、止水栓を開きフラッシングしてください。 故障や漏水の原因となります。
	給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。
	配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。 漏水の原因となります。
	本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対し、ヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください 凍結により破損、漏水のおそれがあります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 水質が悪化するおそれがあります。
	電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグ本体を持って抜いてください。 感電、発火のおそれがあります。

WKT-14S(1)について

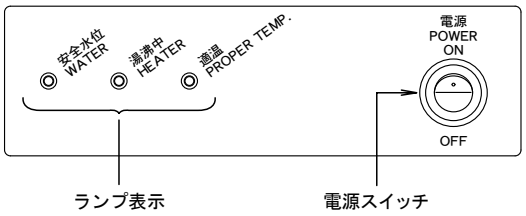
本製品は99℃の沸かし上げを行い、定量出湯を可能とした卓上型の貯湯式電気湯沸器です。

各部名称

WKT-14S(1)本体



操作パネル



ランプ表示色

安全水位:オレンジ
湯　沸　中:赤
適　　温:緑

仕様一覧

型　番		WKT-14S(1)		
定格	電　圧	単相 100V		
	周波数	50/60Hz		
	消費電力	1.1kW		
電源プラグ	プラグ形状／許容量	差込型 接地 2P ／ 125V 15A		
	対応コンセント	(※)WK3001W 、WF3002WK		
貯湯量		14リットル	沸き上がり温度	99℃
沸き上がり時間(★)		75分	使用水圧(静止時)	0.1 ～ 0.5MPa
給水口		G1/2(15A)	オーバーフロー(排水)口	G3/4(20A)
一次側使用水温		40℃以下(凍結しないこと)	使用雰囲気温度	0 ～ 40℃(凍結しないこと)
満水質量		約28 kg	据付方式／設置場所	卓上型／屋内
,安全装置(電子制御式)		空焚き防止機能 , 過昇温検出 , 異常時主回路遮断 , オーバーフロー検出 , 温度センサー異常検出 ,給水異常検出 ,沸し上げ異常検出		

※パナソニック品番(WF:埋め込み型コンセント、WK:露出型コンセント)★水温 15℃時

工事要領

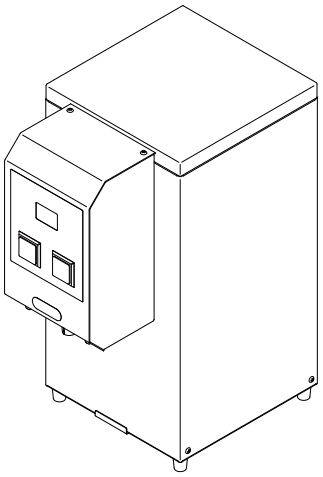
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

1.部品の確認

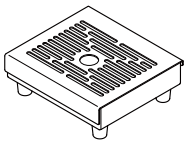
【製品に同梱されています】

WKT-14S(1)本体

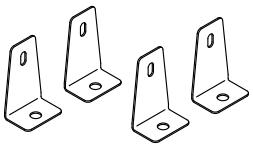


付属品

工事要領・取扱説明書× 1
（この冊子です。当冊子は工事終了後、
ご使用になられる方へお渡しください。）



トレー× 1



耐震金具× 4

【お客様にてご手配ください】

お客様手配品

①漏電ブレーカ ・・・・・万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA、0.1秒)
②止水栓 ・・・・・・・・・排水やメンテナンス時に給水を止めるため必要です。
③袋ナット、ユニオン ・・湯沸器を取り外せるようにするため必要です。
④ステンレスフレキ管・・・配管するために必要です。
⑤パッキン、シールテープ・・配管接続部分から漏水させないために必要です。
パッキンは必ずノンアスベストパッキンをご使用ください。
ゴム製のパッキンを使用すると、漏水のおそれがあります。
⑥アンカーボルト(4本)・・湯沸器を据え付ける際に必要です。
（推奨：トラスタッピンねじ 呼び5× 16）

上記は必ずお客様にてご用意ください。

2. 設置場所の確認

項　目	チェック内容	チェック
設置環境	凍結しない場所ですか？ 凍結の可能性がある場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻くなどの凍結予防処置を施してください。	☐
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体の上蓋、前面ケースを取り外せるスペースは確保されていますか？ メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスを行えない場合があります。	☐
取付場所	水平な場所ですか？ 水平でない場合はお取り付けいただけません。	☐
	満水質量に耐えられる場所ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	☐
給水圧力	給水圧力は0.1 ～ 0.5MPaの範囲内ですか？ 湯沸器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。	☐
コンセント	設置場所付近にコンセントはありますか？ 電源コードの長さは1.0m（標準）です。	☐
電圧	定格電圧の± 10％ 以内ですか？ 電圧が範囲内に収まっていないと、性能を十分に発揮できない場合や、故障・火災の原因にもなりますので、一時変動がある場合にも定格電圧の± 10％以内の電圧であることを確認してください。	☐

WKT-14S（1）の離隔距離

本製品は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。

※必ずメンテナンススペースを確保してください。メンテナンススペースが取られていないと、修理や点検の際に製品を取り外すことが出来ません。

消防法 基準適合 組込形

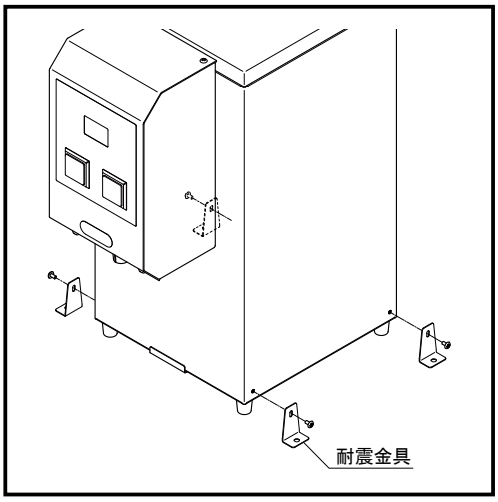
場所	離隔距離（cm）
上方	0
左方	0
右方	0
前方	0
後方	0
下方	0

施工する

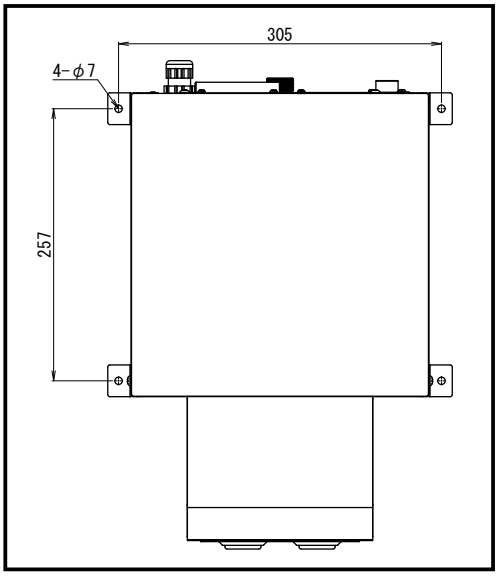
1. 設置工事

①耐震金具を本体に取り付けます。

・本体下部４箇所（右図参照）の取付ねじを一旦外し、耐震金具と共締めしてください。



②湯沸器を取り付ける位置を決定し、印をつけアンカーボルト（お客様手配品）でしっかりと固定してください。

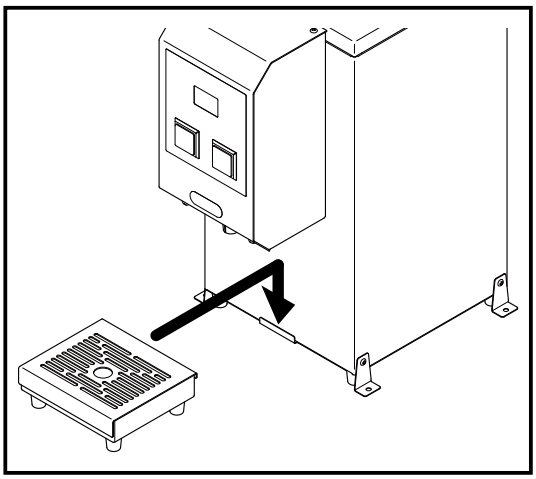


2. 配管工事

ワンポイント P

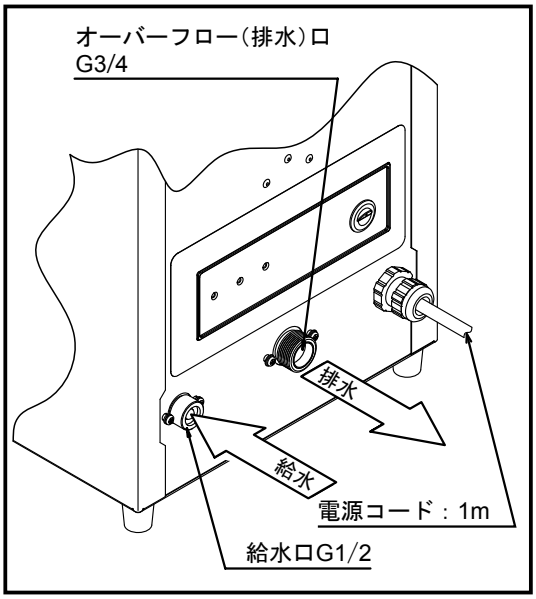
- 袋ナットやユニオンを使用して、メンテナンスや修理の際に取り外せるようにしてください。また、配管接続部は漏水防止のためパッキンまたはシールテープを使用してください。
- 本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻くなどの凍結予防措置を施してください。

①本体のツメ部にトレーを引っ掛けて取り付けてください。



②右図を参照し給水管、オーバーフロー（排水）管を接続してください。

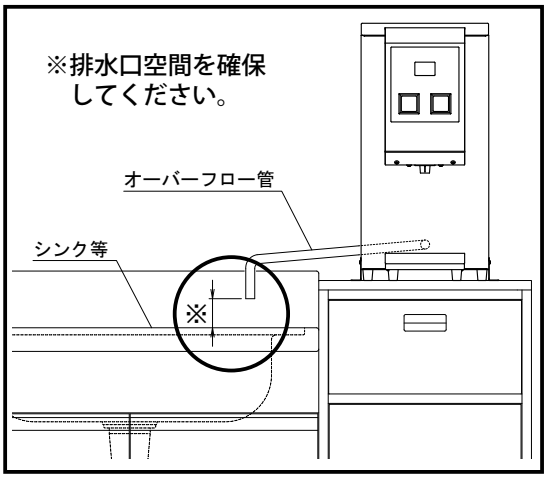
・給水配管にフレキ管（30cm以上）を使用する場合は、ウォーターハンマー現象による振動音を予防するため配管を固定してください。



施工する

・排水配管はオーバーフロー（排水）口から、下り勾配で排水口空間を確保した上でシンクなどに受けてください。

注意！<u>配管途中にバルブを設けたり、先端をふさいだりしないでください。</u>



3. 電気工事

・ 電源一次側にお客様手配品の漏電ブレーカを取り付け、D種接地工事を行ってください。

4. 施工後の確認

チェックリスト

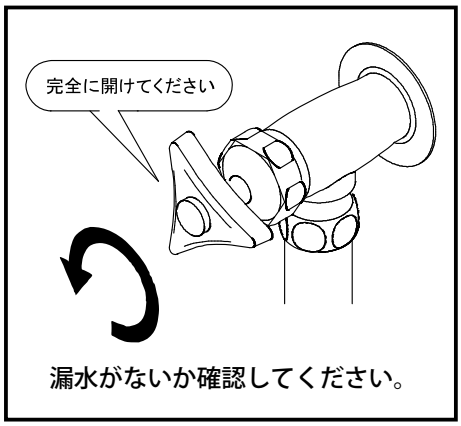
項　目	チェック内容	チェック
設置工事	湯沸器にがたつきはありませんか？	☐
配管工事	給水管や排水管の接続部分にゆるみはありませんか？	☐
電気工事	漏電ブレーカは正しく作動しますか？	☐
	D種接地工事は正しく行われていますか？	☐

試運転を行う

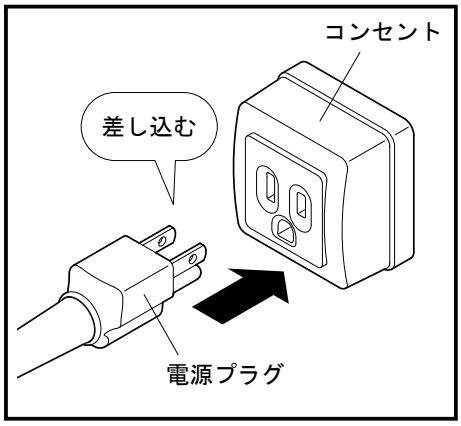
1. 試運転を行う

①止水栓を全開にして、配管部から漏水がないか確認してください。

※**この時点ではまだ給水されません。**

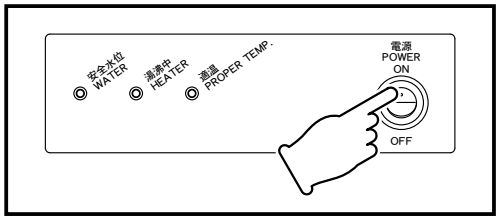


②電源プラグをコンセントに差し込み、一次側に設置した漏電ブレーカをONにします。



③本体背面の電源スイッチを「ON」にします。

前面のデジタル表示部に識別番号「13」が約 1.5秒間表示されます。(温度表示部の内容は 、P.26「デジタル表示、ランプ表示」参照)



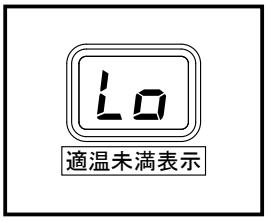
試運転を行う

④給水開始の確認をします。

電源スイッチをONにして一定時間が経過すると、背面操作パネルの安全水位ランプが**点滅**し、前面のデジタル表示部は「PP」を表示し、タンク内に給水が始まります。

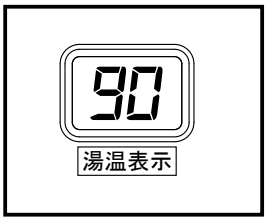
⑤沸し上げ開始の確認をします。

給水を開始して一定時間が経過すると、安全水位ランプが**点灯**に変わり、湯沸中ランプも**点灯**します。同時に前面のデジタル表示部には「Lo」が表示され、沸し上げを開始します。



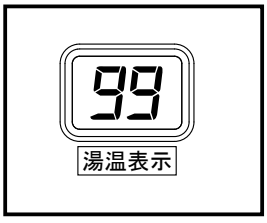
⑥湯温（適温）表示の確認をします。

タンク内の湯温が給湯に適した90℃になると、前面のデジタル表示部が「Lo」から「90」に変わり、背面操作パネルの適温ランプが**点灯**します。



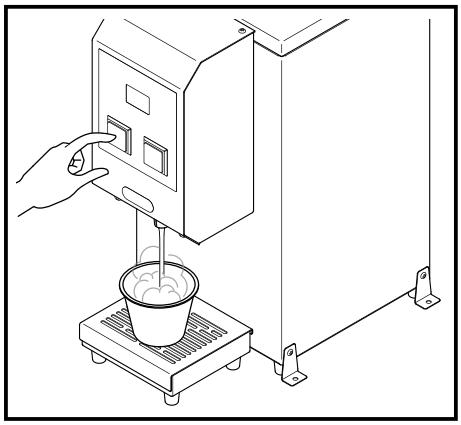
⑦沸き上がりの確認をします。

タンク内の湯温が99℃になりデジタル表示部が「99」になると、沸し上げを完了し背面操作パネルの湯沸中ランプが**消灯**します。



⑧注湯ボタンを押して、お湯が出れば試運転完了です。(工場出荷時設定では注湯ボタンを押している間だけ出湯します。)

> ⚠ **確認の際には熱湯にご注意ください。**
> やけどの危険があります。



沸き上がり時間の目安

項目 / 型番	定格電圧	貯湯量(リットル)	標準ヒーター容量(kW)	沸き上がり時間※		
				給水温度		
				5℃	15℃	25℃
WKT-14S(1)	単相 100V	14	1.1	84分	75分	66分

※沸き上がり温度 99℃の場合。

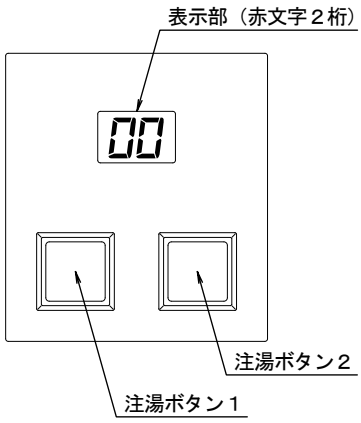
2. 出湯量の設定

本製品の注湯ボタンは出湯量設定機能を有しています。希望の出湯量をボタンに設定するには**「調節値」**(出湯量調節値)と**「乗数」**という2つの値を注湯ボタンに入力する必要があります。

※調節値と乗数は出湯量によって変わる値です。値の求め方はP.16

注湯ボタン 1と2どちらにも出湯量を設定することが可能です。
下記の手順に従って設定してください。

【表示部・操作部の説明】



●表示部
運転モード時：現在湯温や湯量の状態、エラーコードを表示します。
設定モード時：出湯量のパラメータを表示します。

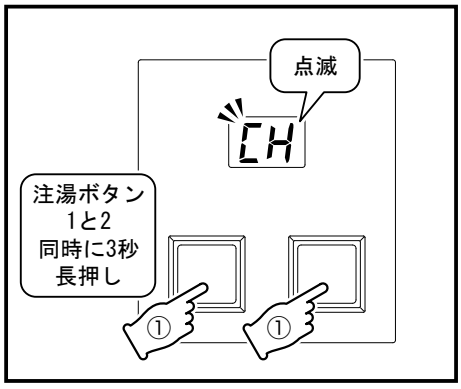
●注湯ボタン１／２
運転モード時：設定された出湯量を出湯します※。
設定モード時：出湯量のパラメータを設定します。

※連続出湯に設定した場合は、押している間だけ出湯します。

【入力方法・設定例】注湯ボタン１に出湯量を設定する場合(250ccで説明)

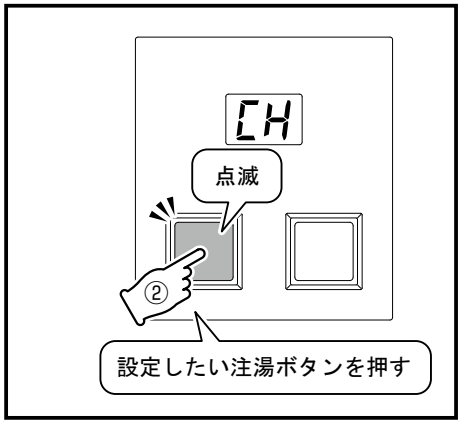
①注湯ボタン１、２を同時に3秒以上長押しして、設定モードに移行します。

・表示部に「CH」が点滅表示されます。



②出湯量を設定したい側の注湯ボタンを押してください。

・選択した注湯ボタンが点滅し、「調節値」入力モードになります。

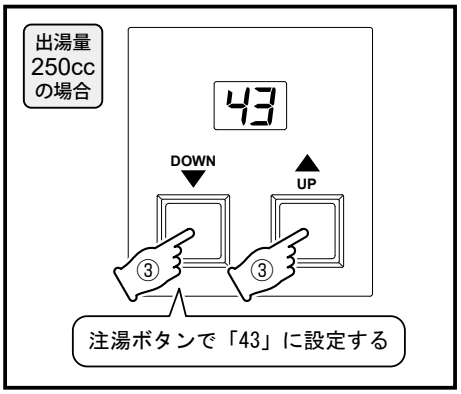


③「**調節値**」を入力します。

注湯ボタンを押して、「調節値」を入力してください。(出湯量 250ccの場合は「43」を入力)

・注湯ボタン１はダウンキー、注湯ボタン２はアップキーの役割をします。
・設定した後、５秒間操作をしないと「乗数」入力モードに移行します。

調節値の求め方は
下記「調節値・乗数の設定について」を参照してください。
※調節値は出湯量によって変わる値です。

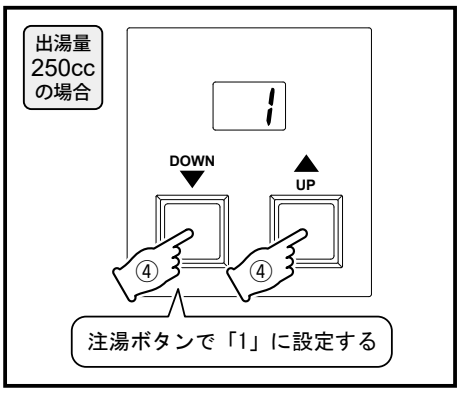


④「**乗数**」を入力します。

注湯ボタンを押して、「乗数」を入力してください。(出湯量 250ccの場合は「1」を入力)

・注湯ボタン１はダウンキー、注湯ボタン２はアップキーの役割をします。
・設定した後、５秒間操作をしないと運転モードに戻ります。

下記「調節値・乗数の設定について」を参照してください。
※乗数は出湯量によって変わる値です。



⑤以上で出湯量の入力が完了です。注湯ボタンを押すと、設定した出湯量でお湯が出ます。

★：調節値入力の際に長押しして調節値を「**00**」にすると、**定量出湯ではなく連続出湯**になります。連続出湯に設定すると、ボタンを押している間は出湯を続けます。(乗数は1～6までどの数字でも構いません)

調節値・乗数の設定について

調節値は右式から求めることができます。 **希望の出湯量 ÷ 5.8 ÷乗数 =調節値**

計算例) 380ccを出湯したい場合 **380 ÷ 5.8 ÷ 1 = 65.517**

小数点以下を四捨五入し、**66**を調節値として入力し、**1**を乗数として入力します。
※調節値は「01」~「99」までの整数のみ入力可能です。希望の出湯量÷ 5.8が100を超えた場合は以下を参照。

■乗数の設定 (右表参照)
希望の出湯量÷ 5.8が99以下の場合は乗数を「1」、100を超えた場合は出湯量に応じ「2~6」のいずれかを入力します。

乗数の目安

出湯量(cc)	100~574	575~1148	1149~1723	1724~2297	2298~2871	2872~3445
乗　数	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**

●調節値は出湯量によって変わります。●調節値は「01」~「99」までの整数のみ入力可能です。●設定可能な出湯量の下限は100cc、上限は3445ccです。●乗数を1とする場合、調節値の下限は「17」となります。●出湯できる湯量は5.8ccが最小単位となり、設定値「1」ごとに「5.8cc」湯量が増減します(乗数を1とする場合)。

＜参考＞ 出湯量ごとの調節値と乗数の目安(100ccごと1000ccまで)

1回の出湯量(cc)	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000	長押出湯
調節値(2桁表示)	17	34	52	69	86	52	60	69	78	86	00
乗数(1桁表示)	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1

■設定した出湯量と実際の出湯量はわずかに異なる場合があります。設定値1ごとに5.8ccの微調整が可能です(乗数を1とする場合)。必要に応じて再設定してください。

3. 試運転後の確認

チェックリスト

項　目	チェック内容	チェック
漏　水	各配管、継手に漏水はないですか？	☐

以上で施工終了です。

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

1. 使用前の準備と確認

ご使用の前に次の事をご確認ください。

チェックリスト

項　目	チェック内容	チェック
本体まわり	近くにガス類や引火物がないですか？	□
	本体の上には物などを載せていませんか？	□

2. 出湯する

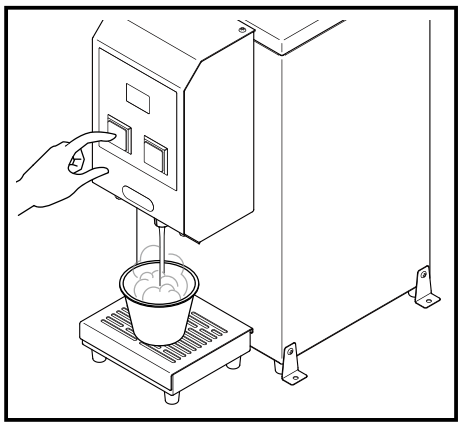
①カップなどを注湯口の真下にくるようにトレーに置きます。注湯ボタンを押して出湯します。

※初めてお使いになる場合は、P.12『試運転を行う』を参照ください。

> ⚠ **出湯の際には熱湯にご注意ください。**
> やけどの危険があります。

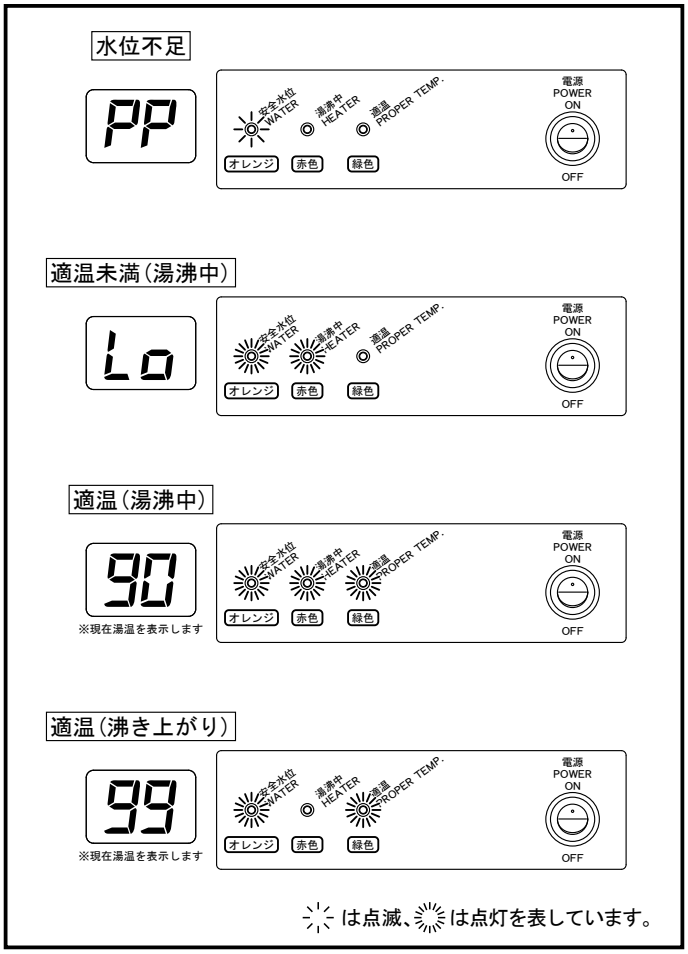
※定量出湯中に出湯を止めたい場合は、注湯ボタン 1、2のいずれかを再度押してください。

※連続出湯に設定している場合は、ボタンを離すと出湯が止まります。



3.運転状態の表示

湯沸器の運転中は、以下の表示がされます。これ以外の表示がされた場合や、ランプが点灯、点滅しない場合は、P.26『デジタル表示、ランプ表示』をご確認ください。



お手入れの方法

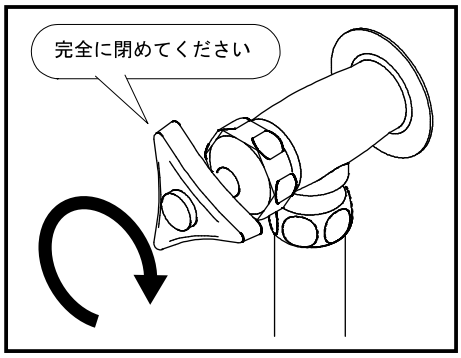
保守点検項目と実施の目安

点検項目	点検内容	点検の目安
コードおよびプラグ	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。トラッキング現象による火災防止のために一次側ブレーカをOFFにし、コンセント周囲やプラグを乾いた布等で清掃してください。	1回／月
漏水全般について	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	1回／日
タンク内部の清掃	最低、年に一回以上はタンク、ヒーター、水位センサーの表面のスケールをナイロンタワシなどで清掃してください。(タンクにはセンサーなどの突起物が出ていますのでケガや部品の破損にご注意ください)	適宜
給水一次側フィルタの清掃	フィルタ内にゴミが詰まると湯沸器の性能に影響しますので最低、年に一回以上は止水栓を閉めてフィルタ内のゴミを除去してください。	

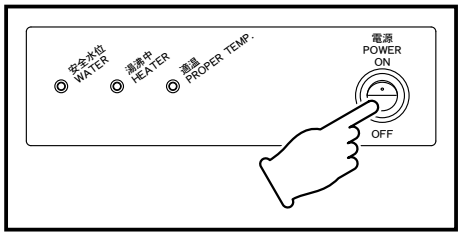
長期間使用しないときは

長期間、湯沸器をご使用にならない場合には水質劣化を防ぐため、下記の手順に沿ってタンク内のお湯を抜いてください。

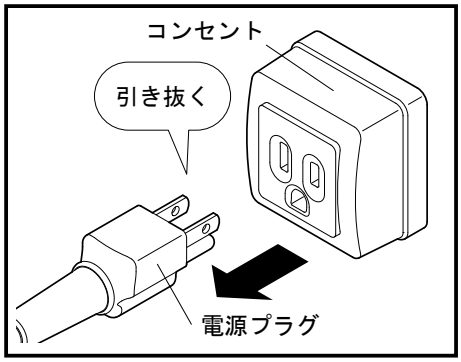
①止水栓を完全に閉めてください。



②本体背面の電源スイッチを「OFF」にします。
（背面操作パネルのランプと前面のデジタル表示部が消灯します。）

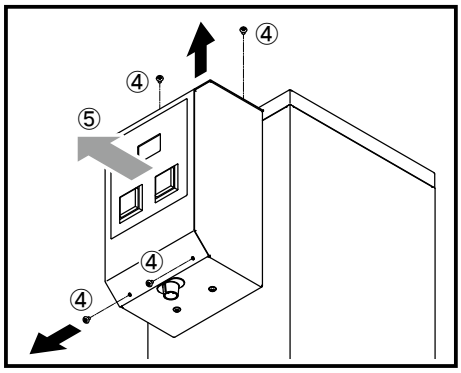


③一次側の漏電ブレーカをOFFにしてから、電源プラグをコンセントから抜き、タンク内のお湯が冷めるまでしばらくそのままにしておきます。



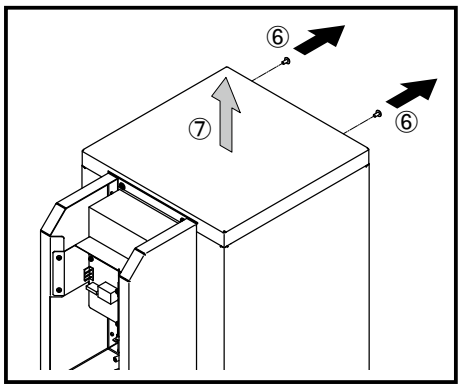
④前面カバーの固定ねじ(4 ヶ所)を外します。

⑤前面カバーを取り外します。



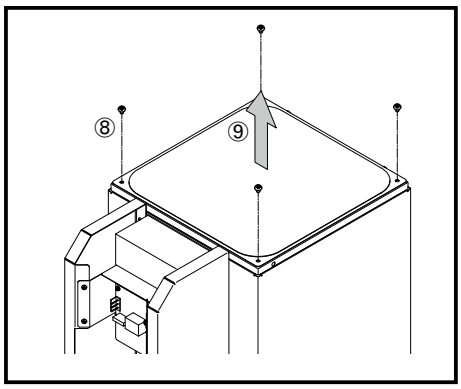
⑥上蓋固定ねじ(背面 2 ヶ所)を外します。

⑦上蓋を取り外します。



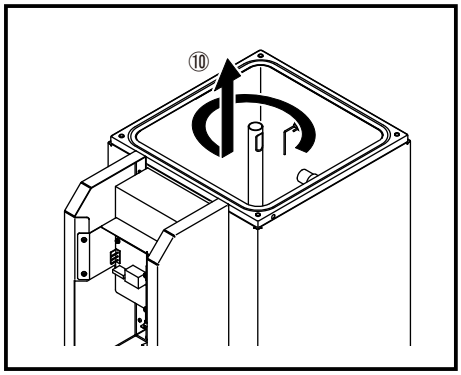
⑧中蓋固定ねじ(天面 4 ヶ所)を外します。

⑨中蓋とパッキンを外します。



⚠ **中蓋を外す際には蒸気にご注意ください。**
タンク内のお湯が充分に冷めていないと 、蒸気でやけどするおそれがあります。

⑩オーバーフローパイプを左に回して取り外すと、背面のオーバーフロー(排水)口から排水が始まります。



⚠ **オーバーフローパイプを外す際には熱湯にご注意ください。**
タンク内のお湯が充分に冷めていないと、やけどするおそれがあります。

⑪排水が終了したら、取り外した時と逆の要領で部品を取り付けて作業完了となります。

短期間使用しないときは

短期間湯沸器を使用しない場合には、状況に応じてそれぞれ下記の対処を行ってください。

●ご使用を停止する場合。
・電源スイッチをOFFにしてください。

●停電の場合
・湯沸器の操作、止水栓の開閉など、機器や配管に対処する必要はありません。停電からの復旧をお待ちください。

●断水の場合
・止水栓を閉め、電源スイッチをOFFにして、断水が終了するまでお待ちください。

凍結防止対策

凍結のおそれがある場合は、次のどちらかの方法にて機器の凍結予防措置を行ってください。

＜機器の運転を継続しつつ凍結を予防する場合＞

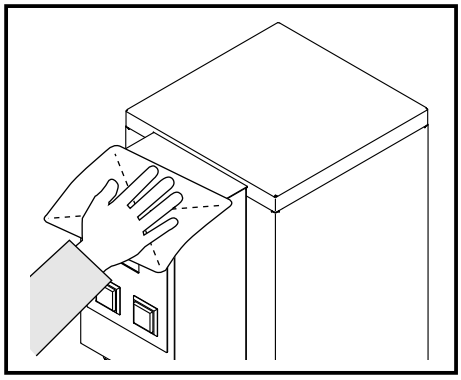
機内温度を氷点下にしないために、機器の通電を継続し沸かし上げを続けてください。また、凍結の可能性がある場所では各配管に対し、ヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください。

＜機器の運転を停止し凍結を予防する場合＞

① P.21『長期間使用しないときは』の手順に従い、湯沸器内の水を抜きます。
※排水が完了後、逆の手順で各部品を取り付けてください。
②給水口の給水配管を外す、もしくは給水口手前（一次側配管）の水抜き栓を開けてください。
※水抜き後、給水口の給水配管を外した場合は外したままにし、水抜き栓を開けた場合は閉めずに開放しておいてください。
※水抜きが完全ではない場合には湯沸器内部に水が残り、凍結により製品が破損してしまう可能性があります。
③再使用時は外した給水配管や水抜き栓を閉めて、P.12『1.試運転を行う』の手順に従ってください。
※機器内のタンクを満水にしてから機器の運転をしてください。故障の原因となります。

外装のお手入れ

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



注湯口のお手入れ

注湯口にはスケール防止キャップと注湯口フィルタが取り付けてありますが 、長期のご使用によりスケールが付着し湯の出が悪くなる場合があります。

スケール防止キャップと注湯口フィルタを取り外して、ナイロンスポンジなどで注湯口、スケール防止キャップ、注湯口フィルタを清掃してください。清掃後はスケール防止キャプと注湯口フィルタを元に戻してください。

スケール防止キャップの取り外し方法は下記を参考にしてください。

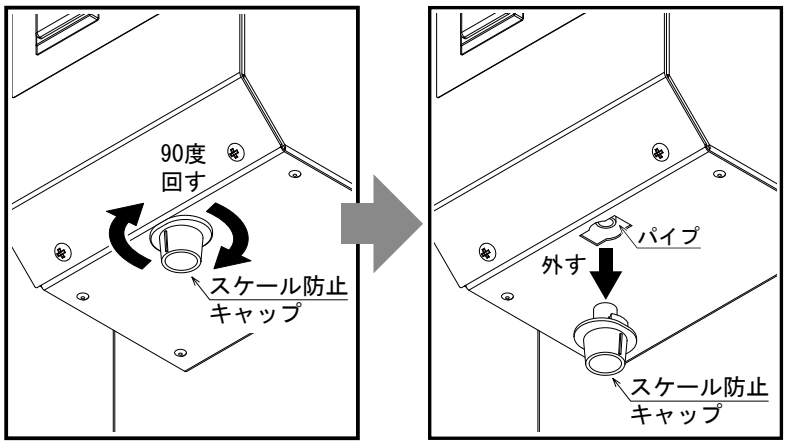
【取り外す時】

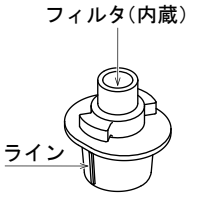
スケール防止キャップを90度回転させてからゆっくり引き抜いてください。

【取り付ける時】

取り外す時と逆の手順で 、スケール防止キャップをケース内部にあるパイプに十分に押し込んだ後、90度回転させてください。

※キャップ正面にあるラインを正面に向けることでキャップのツメがケースに引っかかり抜けにくくなります。





スケール防止キャップを90度回して外し、内蔵の注湯口フィルタをナイロンスポンジなどで清掃してください。

注意！スケール防止キャップを強く引っ張らないでください。樹脂製のためちぎれるおそれがあります。

こんなときは

故障かな？と思ったら

湯沸器が正しく運転しない場合や不調な場合、修理をご依頼の前にご確認ください。

状　況	ご確認ください	対処方法
電源スイッチを押してもランプ表示やデジタル表示が点灯しない	一次側の漏電ブレーカがOFFになっていませんか？	漏電ブレーカをONにしてください。
	電源プラグは確実にコンセントに差し込まれていますか？	確実に差し込んでください。結線部が断線している場合もありますので、点検してください。
	電圧は正常ですか？	電圧を誤るとコントローラが破壊され、一切表示しなくなります。故障の場合は、アフターサービス窓口までご連絡ください。
	停電ではありませんか？	復旧までお待ちください。
湯の出方が悪い	注湯口にスケールが付着していませんか？	スケールをナイロンスポンジなどで除去してください。→ P.24『注湯口のお手入れ』参照。
湯にならない	電源が入っていますか？	電源スイッチをONにしてください。電源を入れても湯が出ない場合は、注湯弁の交換が必要です。アフターサービス窓口までご連絡ください。
湯も水も出ない	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	給水量が不足していませんか？	止水栓を開いて調整してください。給水一次側のフィルタにつまりがある場合は、管理技術者の方に依頼し取り除いてください。
	止水栓が閉まっていませんか？	閉まっていたら開けてください。
設定した量の湯が出ない	調節値および乗数を正しく設定していますか？	P.15-16を参考に、希望する出湯量から調節値・乗数を算出し、再設定してください。また、設定した出湯量と実際の出湯量はわずかに異なる場合があります。設定値 1ごとに5.8ccの微調整が可能です（乗数を1とする場合）。
湯沸器本体から音がする	沸し上げ中ですか？	沸し上げ中は湯温の上昇に伴って湯沸器本体から沸し上げ音がする場合がありますが、故障ではありません。
給水時、湯沸器本体や配管が振動音を発する	配管はしっかり固定されていますか？	給水管に長いフレキ管を使用している場合、しっかり固定されていないと「ウォーターハンマー現象」が起き、振動音が出ることがありますので、しっかり固定してください。
湯が臭い 湯が汚れている	設置直後ではありませんか？	設置直後などは工事の際の切削油などが流入することがありますので、タンク内部を清掃してください。
配管から漏水している	配管接続部がしっかり締めこまれていますか？	配管接続部をしっかり締め直してください。
オーバーフロー（排水）口から常時水がたれている	上部センサーにスケールが付着していませんか？	スケールをナイロンスポンジなどで除去してください。
上蓋から水がたれている	オーバーフロー（排水）口の先がふさがっていませんか？	オーバーフロー（排水）口の先は開放にしてください。
	上蓋用パッキンが古くありませんか？	上蓋用パッキンの交換が必要です。アフターサービス窓口までご連絡ください。

デジタル表示、ランプ表示

本製品は各種の故障診断機能を備えています。故障や問題が発生したときには前面のデジタル表示と背面のランプ表示でエラーを表示します。
エラーが表示されたときは、エラー表示を確認後電源スイッチをOFFにし、以下の内容をご確認ください。

◎ 点滅　○ 点灯　－ 消灯

表示種類	デジタル表示（前面）	ランプ表示（背面）			内　容	状態・点検事項・原因・対処の方法
		橙（安全水位）	赤（湯沸中）	緑（適温）		
通常表示	90 ～ 99	○	○／－	○	現在湯温	給湯に適した 90℃以上の状態。99℃になり沸し上げが完了すると、赤ランプが消灯します。
	Lo	○	○	－	適温未満	湯温が 90℃未満で沸し上げ中の状態。90℃以上になると現在湯温表示に変わります。
	PP	◎	－	－	初期給水	タンク内の水が少ないため安全水位まで給水中です。
	13	－	－	－	識別番号	電源スイッチをONにした時、機器の識別番号を表示します。
エラー表示	E0	○	◎	－	過昇温	**ヒーター用リレーの異常** →アフターサービス窓口までご連絡ください。
	E1	◎	－	◎	給水異常	**断水** →断水が終わるまでお待ちください。 **下部水位センサーのスケール付着** →スケールをナイロンスポンジなどで除去してください。 **給水弁の故障** →アフターサービス窓口までご連絡ください。
	E2	○	－	◎	温度センサー異常	**センサー、接続コネクタ異常** →アフターサービス窓口までご連絡ください。
	E3	○	－	－	沸かし上げ異常	**ヒーター異常** →アフターサービス窓口までご連絡ください。
	E4 ↑↓ 温度 （交互表示）	－	◎	◎	オーバーフロー	**上部水位センサーのスケール付着** →スケールをナイロンスポンジなどで除去してください。 **給水弁の故障** →アフターサービス窓口までご連絡ください。
	E5	◎	◎	◎	温度測定エラー	**温度読み込み異常** →電源スイッチを OFF にし、再度電源スイッチを ON にしてください。
	E6	◎	◎	－	給水異常	**断水** →断水が終わるまでお待ちください。 **給水弁の故障** →アフターサービス窓口までご連絡ください。
	表示なし	－	－	－	マイコン故障	**マイコンの故障** →アフターサービス窓口までご連絡ください。

症状が改善されない場合はアフターサービス窓口までご連絡ください。

アフターサービス

消耗品について

下表に記載する部品は定期的に交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。部品交換（有償）はアフターサービス窓口までご依頼ください。

部品名		交換時期の目安	交換いただく理由
弁・パッキン	給水弁	交換・設置日より3～5年	長期間ご使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。 ※水道水中のミネラル分が固着したもの。
	注湯弁		
	定流量弁		
	ホース類		
	Oリング・パッキン類		
電装部品	ヒーター		
	コントローラー	交換・設置日より5～7年	
	注湯ポンプ		
	センサー類		
	ケーブル・コード・配線類		
	その他電装類		
その他	スケール防止キャップ		
	注湯口フィルタ		

※使用頻度、環境によっては交換が早まる場合があります。

補修用性能部品について

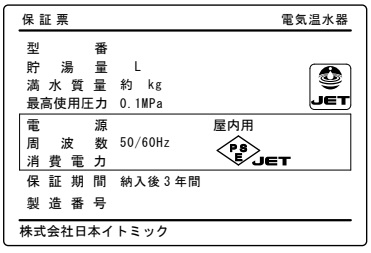
本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

メンテナンス契約について

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは裏表紙に記載の弊社リニューアル課までご連絡ください。また、部品のご注文はアフターサービス窓口にて承っております。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.28の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。（型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。）


保証票　電気温水器
型番
貯湯量　L
満水質量　約 kg
最高使用圧力　0.1MPa
電源　屋内用
周波数　50/60Hz
消費電力
保証期間　納入後3年間
製造番号
株式会社日本イトミック

アフターサービス窓口

TEL 〈全国共通ナビダイヤル〉

一般電話・公衆電話・携帯電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570−011039

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

受付時間:24 時間 365 日（営業時間:8:45～17:45）

一般電話・公衆電話の場合は市内電話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様：03(3621)2161　関東地区以外のお客様：裏表紙記載の最寄りの営業所にお問い合わせください。

インターネット 〈インターネット修理受付窓口〉

https://www.itomic.co.jp/repair/

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX 〈FAX 修理受付窓口〉 03（3621）2163

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。当ページの故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所へお送りください。（裏表紙に記載）

故障状況シート			
貴　社　名		ご担当者名	
ご　住　所			
T　E　L		F　A　X	
製品型番	WKT-14S（1）		
電源、電力		製造番号	
設置場所		保証期限	
状　　態			

MEMO

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から3年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口までご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
   （１）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・タンク内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
   （２）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
   （３）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
   （４）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
   （５）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
   （６）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
   （７）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
   （８）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
   （９）電気・給水の供給トラブル等による不具合
   （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
   （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
   （12）火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
   （13）保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認いただくとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認いただくとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧いただくか、アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社日本イトミック

本社・営業本部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2121（代）**
FAX：03（3621）2130
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
ホームページ　https://www.itomic.co.jp/

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話・携帯電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570−011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄りの営業所まで直接お問い合わせください。

関東地区お問い合わせ ・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2161**
FAX：03（3621）2163

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。
また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2760**
FAX：03（3621）2160

《担当エリアと営業所》

北海道地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：011（615）6681**
北海道営業所 **FAX：011（615）7004**
〒063-0801　北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10（ラポール 24 軒 2 号館）
担当エリア：北海道地区全域

東北地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：022（357）0848**
東北営業所 **FAX：022（357）0847**
〒983-0014　宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県

関東・新潟・山梨・静岡地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2121**
（株）日本イトミック 本社 **FAX：03（3621）2130**
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／神奈川県／山梨県／新潟県／静岡県

中部・北陸地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：052（222）2561**
中部営業所 **FAX：052（222）2559**
〒460-0002　愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12（アレックスビル 3F）
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：06（7177）4949**
関西営業所 **FAX：06（7177）4948**
〒541-0056　大阪府大阪市中央区久太郎町 3-1-11 VORT 御堂筋本町Ⅱ 7F
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：082（240）1361**
中国営業所 **FAX：082（240）1363**
〒730-0051　広島県広島市中区大手町 2-3-9（大手町中村ビル 2F）
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：092（481）3911**
九州営業所 **FAX：092（481）3930**
〒812-0007　福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

WW10D17001-12　　'22.07-8-1-0 ①